

「石西礁湖自然再生全体構想行動計画 2019-2023」の見直しについて

○「石西礁湖自然再生全体構想行動計画（以下、『行動計画』という。）」とは

石西礁湖自然再生協議会が、石西礁湖の自然再生に向けて、自然再生の対象となる区域や目標、展開すべき取組などの基本的考え方を「石西礁湖自然再生全体構想」として2007年にまとめました。



行動計画
QRコード

(<http://sekiseisyouko.com/szn/kousou.html#top>)

この中で、長期目標（達成期間30年：2037年）と短期目標（達成期間10年：2017年）を次のとおり決めました。

長期目標：人と自然の健全な関わりを実現し、1972年の国立公園指定当時の豊かなサンゴ礁の姿を取り戻す

短期目標：サンゴ礁生態系の回復のきざしが見られるようにする、そのために環境負荷を積極的に軽減する

2017年に達成期間10年が経過したことをうけ、それまでの取組みを評価して見直しました。具体的には、各委員が10年間の取組の自己評価シートを作成し、評価・検証にかかる分科会において意見交換を行い、2018年2月の第23回協議会において全体構想の展開すべき取組ごとに「達成できた点」と「今後に向けた課題点」に整理しました。このような10年間の取組・検証の作業を踏まえて、2037年への長期目標に向けて、5年を対象とした取組方針を設定して、重点的かつ積極的に実施していく取組をとりまとめた行動計画を策定しました。それが、「石西礁湖自然再生全体構想行動計画 2019-2023」（別添参考資料：<http://sekiseisyouko.com/szn/kousou.html#koudou>）です。

※行動計画策定にかかる検討記録は第21回（2017年）～第25回（2019年）の石西礁湖自然再生協議会の記録を参照

<http://sekiseisyouko.com/szn/record.html>

○『行動計画』の見直しについて

この『行動計画』の期間は2023年までとなっているため、2023年度に『行動計画』の達成状況について評価し、『行動計画』の見直しを行います。

その際には、石西礁湖のサンゴ礁生態系の取り巻く状況やサンゴ礁生態系に関連する国内の計画などの動向を踏まえ、全体構想の長期目標の達成に向けて作業を実施していくこととします。（「石西礁湖自然再生全体構想行動計画 2019-2023」P31より引用）

○『行動計画』の見直しに向けた進め方

各委員は自己評価・取組シート（資料4-2）に、『行動計画』の取組方針としてい

る3つの取組分野、15の取組方針毎に5年間に取り組んだ活動内容及び今後の5年間に向けて取り組む事項や連携を進めていきたい内容を記載し、事務局まで提出します。

事務局で提出された自己評価・取組シートを整理・集約し、5年間の活動実施状況と今後の取組事項をとりまとめて、3つの取組分野に応じた3つの部会に報告します。

報告を受けて、各部会では5年間の評価と今後重点的に実施すべき取組や強化すべき取組について議論を行います。

事務局は各部会での議論を集約し、次期『行動計画』案の見直し箇所について整理し、次期『行動計画』案を作成します。

石西礁湖自然再生協議会にて、次期『行動計画』案について議論し、最終決定します。

○『行動計画』の見直し方針案

- ・全8章の構成は踏襲する。

<目次案>

1. 石西礁湖自然再生とは
2. サンゴ礁生態系の恵み
3. 石西礁湖の現状
4. 石西礁湖自然再生全体構想の概要
5. 2019年～2023年の取組状況
6. 2024年～2028年の取組
7. 委員の連携と役割分担
8. フォローアップ及び見直し

- ・第1～4章は、自然的社会的情勢の変化や、関連する計画等の策定・改定（例：サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030）を踏まえて、内容を最新の記述に更新する。
- ・第5～8章は、自己評価・取組シートの内容と各部会、協議会での議論を通じて、現行の内容を基本としつつ更新・追加・変更等を行う。
- ・次期「行動計画」の計画期間は引き続き5年間（2024～2028年）とする。

○『行動計画』の見直しに向けた進め方（案）や方針（案）などへのご意見

期日：4月6日（木）

方法：メールまたはFAXにて、件名は「行動計画見直し意見」として、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターまでお送りください。

メール coremoc@sirius.ocn.ne.jp

FAX 0980-82-0279